

第210回 昭和の森自然観察会

水の中の生きもの探し

浦部純子(千葉市)

日 時： 2009年6月14日（日）13～15時 天候：晴れ

参加者： 大人45名 子ども52名 指導員25名

担当指導員：浦部純子 長内悦子 小橋一民

今年は天候に恵まれ、指導員を除いて参加者も100名近く楽しい一日を過ごしました。3班に分かれ、調整池でのザリガニ釣り・中菖蒲谷の生きもの探し・下夕田池での仕掛けの引き上げ、5カ所で採取した水の検査を交代で行いました。

アメリカザリガニは皆小振りで、オスとメスの区別が難しかったのですが、最後の3グループ目には判別法を一応確定としました。真っ赤なマッカチンは数えるほどでしたが、子ども以上におとなが楽しんでいました。

ヤゴやオニヤンマの生きもの探し、全部ハズレだった仕掛けは残念でしたが、イトトンボ・スイレン・オオヨシキリ・カメ・コイ…下夕田池を眺めているだけでもよかったです！との参加者の声にほっとしました。

以下は 小橋一民氏の「小中川 水生生物調査報告書」です。

午前中は自然観察指導員の研修をかねて、小中川の「水生生物調査」を実施した。そのとき採取された生物の一覧表を下記に示す。

採取された生物	数	水質の指標生物
巻貝=カワニナ	多数	少しきたない水
ヘビトンボ	4	きれいな水
ハゼ科のヨシノボリ (トウヨシノボリを含む)	7	
ゲンゴロウ	1	
ガガンボ	1	
カダヤシ	1	
サワガニ	1	きれいな水
ゲンジボタル	2	
オオカワトンボ♂	1	

川上がり3面コンクリート張り、左岸は元産廃置き場で、放置状態です。このため周辺は不法投棄が行われ、ゴミが散乱している。

橋の下付近から石ころの底。左岸には蒲団やビデオテープなどのゴミが不法投棄されている。

川幅約3m、水量はそれほど多くはない。

流れは50cm/sec

川の水は透明で、臭いもなし。

水は「きれいな水」から「少しきたない水」に移行しているものと推察される。



ヤゴがいっぱいいるね